

# 友達のよいところやがんばりに気づき、 伝え合う学級活動の工夫

～友達のがんばりを伝える『がんばりカード』の活用を中心に～

特別活動班 鈴木 幸子（小学校教諭）

## 自己課題設定理由

本学級の児童は、小さな頃から互いを知っていて、何でも言い合える雰囲気がある。しかし、自己中心的な言動のため、誤解やトラブルが起きても解決できないことがある。また、自分の考えをもって表現することを苦手と感じている児童も数名いる。このような実態から、児童同士が互いの話をよく聞いて考えたり、適切な言葉を使って話したりできるような話し合い活動を、意図的に取り入れていく必要があると考えた。

児童同士が友達のよいところやがんばれたことを見付け、『かがやきカード』に書いて伝え合うことにより、一人一人が活躍し、互いに認め合えるような話し合い活動を実践していきたいと考え、本主題を設定した。

## 3つの手だて

### 目指す児童像

友達のよいところやがんばりを見付け、互いのがんばりを認め合える子

友達の意見をよく聞いて、よりよくなる方法を話し合おうとする子

自分の考えをもって話し合い活動に参加しようとする子

### 手だて 1

互いのがんばりを  
認め合う活動

- 話し合い活動の導入で『かがやきカード』を配布し、互いのがんばりを伝え合う活動を行う。
- 係活動への取組を友達が見てくれたことへの感謝や驚き、今後の取組への思いが発表されて、話し合い活動への意欲をもたせることができた。

いろいろな楽しい学級行事を考えてくれてありがとう。

いつも月1回してくれてありがとう。これからもがんばりたいです。これからもよろしくお願いします。

『かがやきカード』

### 手だて 2

話し合い活動を活発に進め、  
内容を深める工夫

- 計画委員会を開き「話し合いカード」の内容を把握し、よい考えを生かせるように意図的な指名をする計画を立てた。
- 教師は、アンケート結果の分析と『かがやきカード』の内容を把握し、話し合い活動の進行を支援できるように準備しておいた。

係  
みんなが  
よ

もうおしりがきょうのやみきそ  
うたぶんはほうがいいよ。

いいね  
よ

いつも  
協力してあげてくれていいよ。

『かがやきカード』

### 手だて 3

自分の考えを表現するのが  
苦手な児童への支援

- 事前に議題を知らせ「話し合いカード」に自分の考えを書いて、話し合い活動に参加させた。
- 「話し合いの話し方・進め方マニュアル」を作成し、どの児童も話し合い活動の司会を経験できるようにした。



「話し合いカード」

- 今日の議題は、「 」です。
- 提案理由を（ ）さんをお願いします。
- 話し合いの順番は、(1)～(2)～(3)～です。
- 初めに(1)について、意見がある人は、手をあげて発表してください。
- ほかにさんせい意見がある人、反対意見がある人、お願いします。

「話し合いの話し方・進め方マニュアル」の一部分

## 成果

- 『かがやきカード』や話し合い活動を通して互いを認め合うことで、自分の考えに自信をもったり、人によって感じ方や考え方が違うことを理解したりして話し合いを進めることができるようになってきた。
- 「話し合いカード」や『かがやきカード』の内容を事前に把握することで、話し合い活動の中心を焦点化し、よい考えを意図的に生かせた。
- 話し合い活動の議題は、提案者だけの問題ではなく、学級全体の一人一人が考えなければならない問題として、具体的に解決する方法を話し合えるようになってきた。

## 課題

- 話し合い活動の内容を深められるような支援の仕方（助言の仕方、タイミング）や「話し合いカード」『かがやきカード』の生かし方を工夫し話し合い活動が互いを認め合える場となるように指導していきたい。